

神奈川県議会議員

たかはし
栄一郎
 かながわ自民党
 子育て議員の
 県政レポート

発行所

たかはし栄一郎事務所

横浜市保土ヶ谷区川辺町6星川プラザマンション1F

電話:045-337-1234 <http://takahashi.eco.to>

9月9日未明に関東地方へ上陸した台風15号は、県内でも大きな被害をもたらしました。区内でも倒木や電車の運休、大規模停電などにより、多くの方々にご不安やご心配、ご不便を感じられたことと思います。東日本大震災や西日本豪雨など、テレビや新聞などでその恐ろしさや教訓に触れているはずの私達ですが、規模は違えども、今回の台風15号の上陸で、改めて、自然災害への日頃からの備えの大切さや、いざという時の行動想定的重要性を再認識する結果となりました。

行政の分野でも、今後加速させて取り組むべき課題が見えました。大規模停電時の避難所開設、集中豪雨に対応できる河川整備、高波浸水想定区域への対策、民間団体との災害協定の強化促進など、ひとつひとつ早急かつ的確に進めていく必要があります。

自助・共助・公助の取り組み強化を皆さんにもご協力いただくと同時に、県として、県民の暮らしの安心と安全を守るという責務を果せるようにしっかりと取り組んでまいります。

民間団体との災害協定について

近年、大規模自然災害が多発している状況を受け、県では民間団体や企業と多岐にわたる分野で災害協定を結んでおり、物資供給や帰宅困難者支援、インフラの応急復旧など、1300の民間団体等と540を超える協定が締結されています。災害の規模が大きくなるほど、自治体だけでは対応できない部分が増え、災害協定の締結に基づいた民間団体との連携を進めていくことは重要です。さらに、このような協定が万一の時、その機能を円滑に発揮できるよう、全庁横断的に情報共有をすることはもちろん、常に関係団体や県民に対して周知する取り組みが欠かせません。

特に大規模災害時のライフラインに関わる課題・情報の共有に向けては「県・ライフライン事業者・交通事業者 地震・防災対策推進協議会」が設置されており、県内33市町村も参加の上、情報連絡体制が整えられています。更に昨年の災害救助法改正を受け、本県では本年5月に政令市や協定団体を交えた連絡会議を全国に先駆けて設置しました。しかし、今回の台風ではその体制は十分に機能せず、情報共有の重要性と課題が浮き彫りになりました。今後も安心と安全の確保に向けての体制作り、全力で取り組んでまいります。



東京湾沿岸における高潮浸水想定区域について



高潮とは、台風や発達した低気圧が通過する際、海水面(潮位)が大きく上昇する現象です。満潮と高潮が重なると高潮水位はさらに上昇して、大きな災害が発生しやすくなります。

裏面に続く→



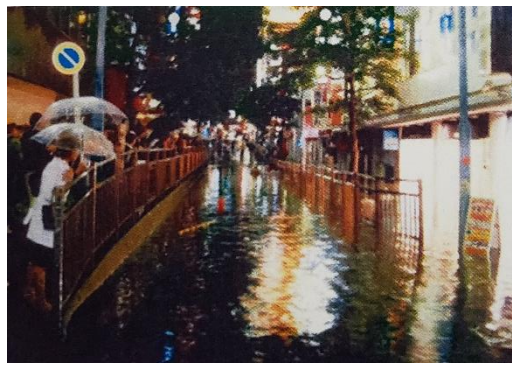
近年、国内外で高潮による大規模な浸水被害が発生しており、津波対策と同様に、高潮についても、未だ経験したことのない規模の災害から命を守り、社会経済に壊滅的な被害が生じないようにすることが重要です。県では、高潮浸水想定区域を指定し、浸水の長期化に備えた避難や事前の準備の必要性をご理解いただくとともに、市町村が作成する高潮ハザードマップなどについて技術的な協力も行っています。高潮ハザードマップには、気象情報や水位情報の伝達方法、避難場所や避難経路などが記載され、県民の皆様に周知されるようになっていきます。様々な取組みにより、今後も高潮からの避難確保等が図られるよう、関係機関が連携して暮らしの安心と安全が守られるよう、しっかりと取り組んでまいります。

新セーフティリバーについて<都市河川重点整備計画>

県では、「都市河川重点整備計画(かながわセーフティリバー50)」を平成3年度に策定し、過去の大雨で水害が発生した河川や、都市化の進展が著しい地域を流れる河川について、一時間あたり50mmの降雨にも耐えられる設計で、重点的に整備を進めてきました。

しかし近年、ゲリラ豪雨の頻発などで一律に時間50mm対応の整備では対応が難しい河川も出てきました。そこで、平成22年に「新セーフティリバー」として、それぞれの河川の状況に合わせた降雨対応数値を設定し、整備を進めています。

現在、県所管18河川の整備進捗状況は約60%です。保土ヶ谷区内を流れる帷子川も、重点整備18河川のひとつであり、一時間あたり82mmの降雨にも対応出来る設計で整備が進められていますが、帷子川に関しては河口部の改修事業で、ほぼ完成となります。



▲平成16年台風22号による横浜駅西口付近における浸水状況(帷子川)

【帷子川河口部の改修】 右写真の通り→
帷子川河口部の狭窄部において、河道の拡幅を進めます。
(現況の幅員約50m⇒130mまで拡幅)



今号は、防災への県の取組みの一部をご報告させて頂きましたが、災害時に一番頼りになるのは、やはり地域の力と日頃の備えであると感じています。今一度、災害への備えをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

**「たかはし栄一郎」県政レポート
配布ボランティアを募集しています！**

①たかはし栄一郎の県政レポートをご近所等にポスティング配布して下さるボランティアの方

②広報掲示板をご自宅等に設置して下さる方
(大きさ:90cm×90cm)

* **ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら
事務所までご連絡ください**



県政に対する皆様のご要望をお待ちしております!!
↓ご意見ご要望はこちらまで↓
たかはし栄一郎事務所
TEL:045-337-1234
FAX:045-337-1243
✉: takahashi.eiichirou@sky.plala.or.jp